

2006年度

# 中間決算概要

常務取締役 執行役員経営管理第1本部長  
平井 茂雄

<http://www.eneos.co.jp>

2006年10月30日



**新日本石油**  
Your Choice of Energy

# 06年度上期決算のポイント

経常利益は、1,320億円と前年同期比△181億円減益

〔在庫影響除き経常利益は、701億円と前年同期比+325億円増益〕

- ◆ 石化マージンのアップ等があったものの、在庫影響のプラスが大幅に減少したことにより、石油精製・販売部門が減益
- ◆ 原油価格の上昇等により石油・天然ガス開発部門が増益
- ◆ 受取配当金の増加等により営業外損益が良化

# 06年度上期 損益概要

	05年度上期		06年度上期		06年度上期 (7月発表)	
		増 減		増 減		
原油価格 (\$ / Bbl)	51.8	+ 14.3	66.1	+ 0.6	65.5	
為替レート (円 / \$)	108.8	+ 6.6	115.4	+ 0.5	114.9	
シヨイント等除き 販売数量 (万 KL)	3,413	△ 115	3,298	△ 22	3,320	
売上高	兆 億円 27,010	億 円 + 4,973	兆 億円 31,983	億 円 + 2,283	兆 億円 29,700	
営業利益 (在庫影響)	1,455	△ 307	1,148	+ 258	890	
営業利益 (在庫影響除き)	(1,125)	(△ 506)	(619)	(+ 129)	(490)	
営業外損益	(330)	(+ 199)	(529)	(+ 129)	(400)	
営業外損益	46	+ 126	172	+ 22	150	
経常利益 (在庫影響除き)	1,501	△ 181	1,320	+ 280	1,040	
経常利益 (在庫影響除き)	(376)	(+ 325)	(701)	(+ 151)	(550)	
特別損益	△ 28	+ 21	△ 7	+ 23	△ 30	
当期純利益	819	△ 178	641	+ 131	510	

# 06年度上期セグメント別営業利益の増減<前年同期比>

前期比△307億円      05年度上期      06年度上期  
 (1,455億円 → 1,148億円)

	営業利益		06/上期経常利益(参考)
	05年度上期	06年度上期	
I. 石油精製・販売 (在庫影響除き)	△485億円 +21億円	(1,061億円 → 576億円) (△64億円 → △43億円)	693億円 74億円
うち石油化学製品	+96億円	(190億円 → 286億円)	288億円
II. 石油・天然ガス開発	+192億円	(358億円 → 550億円)	605億円
III. 建設・その他	△14億円	(36億円 → 22億円)	22億円

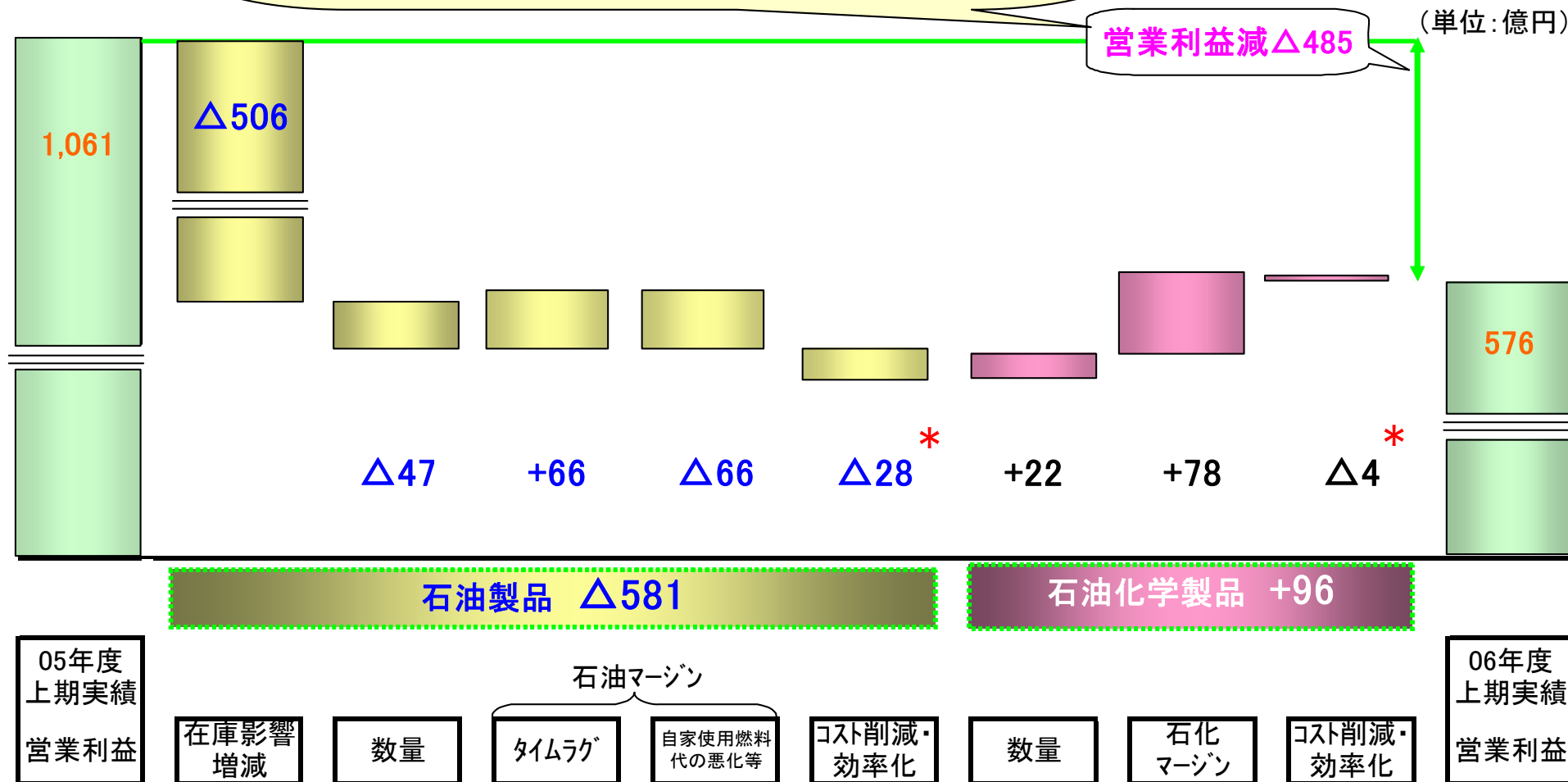
# 石油精製・販売部門 営業利益増減分析

## 営業利益減(△485億円)のポイント

- ・在庫影響のプラスが大幅に減少
- ・中間3品、C重油を中心に石油製品数量は減少
- ・安全対策強化、資機材高騰により設備費等の経費が増加
- ・パラキシレン、プロピレンを中心に石化マージンは良化

\* コスト削減・効率化  
(経費増)計 △19

- ・石油製品 △28
- ・石油化学製品 △4
- ・建設・その他 +13

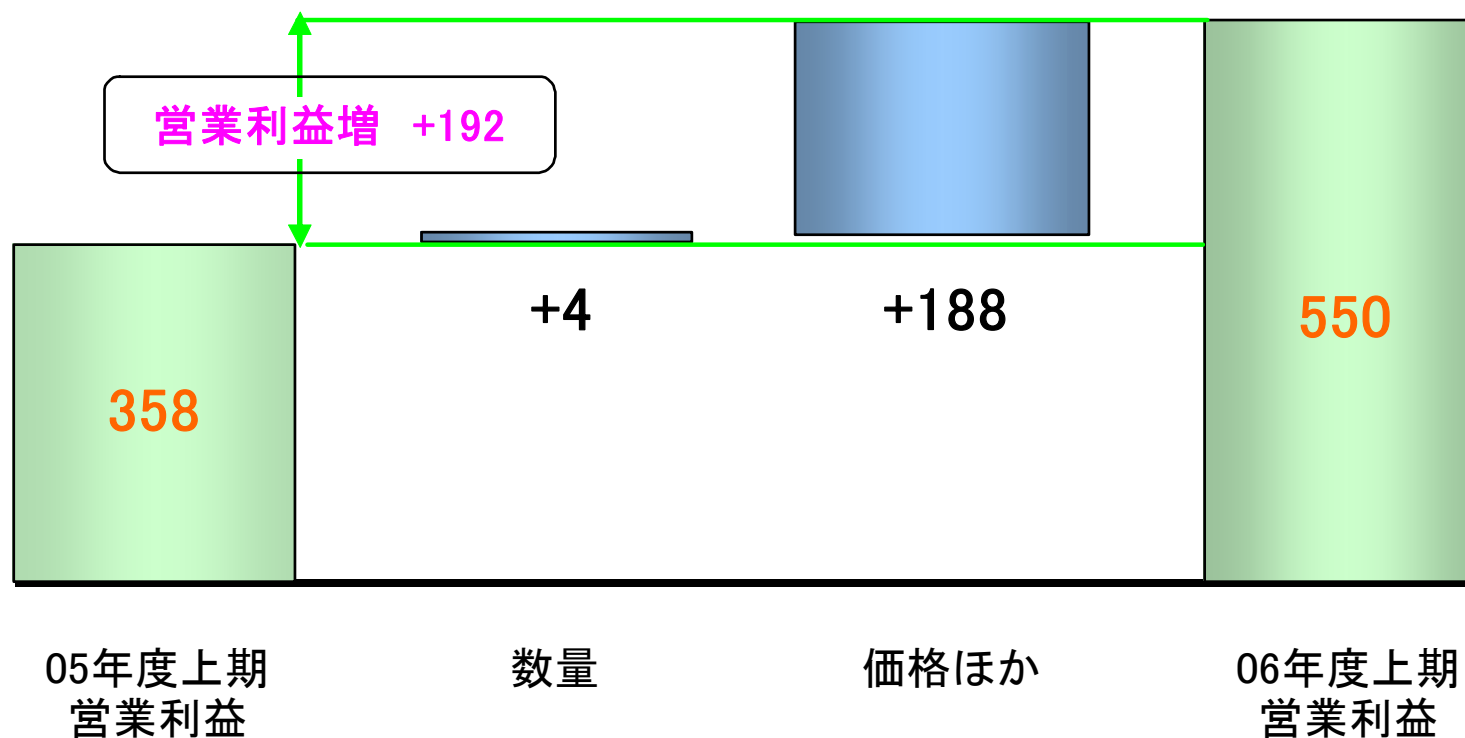


# 石油・天然ガス開発部門 営業利益増減分析

営業利益増減(+192億円)のポイント

- ・販売数量はほぼ前年同期並み
- ・原油、ガス価格の上昇により販売価格が上昇

(単位:億円)



# 06年度決算見通し(7月公表を修正)のポイント

経常利益は、1,840億円と前回見通し(7月公表)比△220億円減益  
〔在庫影響除き経常利益では1,800億円と前回見通し比+180億円増益〕

## ◆ 原油価格および為替レート的前提を見直し

		\$/Bbl		前回(06/7)
• WTI	(06/10月以降)	60	←	70
• Dubai	(06/11月積み以降)	55	←	65
• 処理原油代(年度平均)		61.1	←	65.7
• 為替レート		円/\$	←	115

◆ 足元の好調な市況を反映し、石化マージンが大幅に良化したものの、在庫影響のプラスが大幅に減少したことにより、石油精製・販売部門が減益

◆ コスト削減・効率化は、前回比±0〔△20(前回) → △20(今回)〕

# 06年度損益概要(年度見通し)

	05年度実績	増減	06年度見通し	増減	06年度見通し (7月発表)
原油価格(\$/Bbl)	54.0	+7.1	61.1	△4.6	65.7
為替レート(円/\$)	112.7	+4.8	117.5	+2.5	115
ポイント等除き 販売数量(万KL)	7,285	△415	6,870	△10	6,880
売上高	兆 億円 61,180	億円 +6,120	兆 億円 67,300	億円 +1,700	兆 億円 65,600
営業利益 (在庫影響除き)	3,039 (1,664)	△1,439 (△1,624)	1,600 (40)	△220 (△400)	1,820 (440)
営業外損益	52	+188	240	0	240
経常利益 (在庫影響除き)	3,091 (1,427)	△1,251 (+373)	1,840 (1,800)	△220 (+180)	2,060 (1,620)
特別損益	△108	+8	△100	△40	△60
当期純利益	1,665	△895	770	△210	980
連結ROE	% 16.0	% △9.4	% 6.6	% △1.7	% 8.3

(下期) 56.6

(下期) 119.5



# 06年度セグメント別営業利益の増減 <前回(7月)見通し比 >

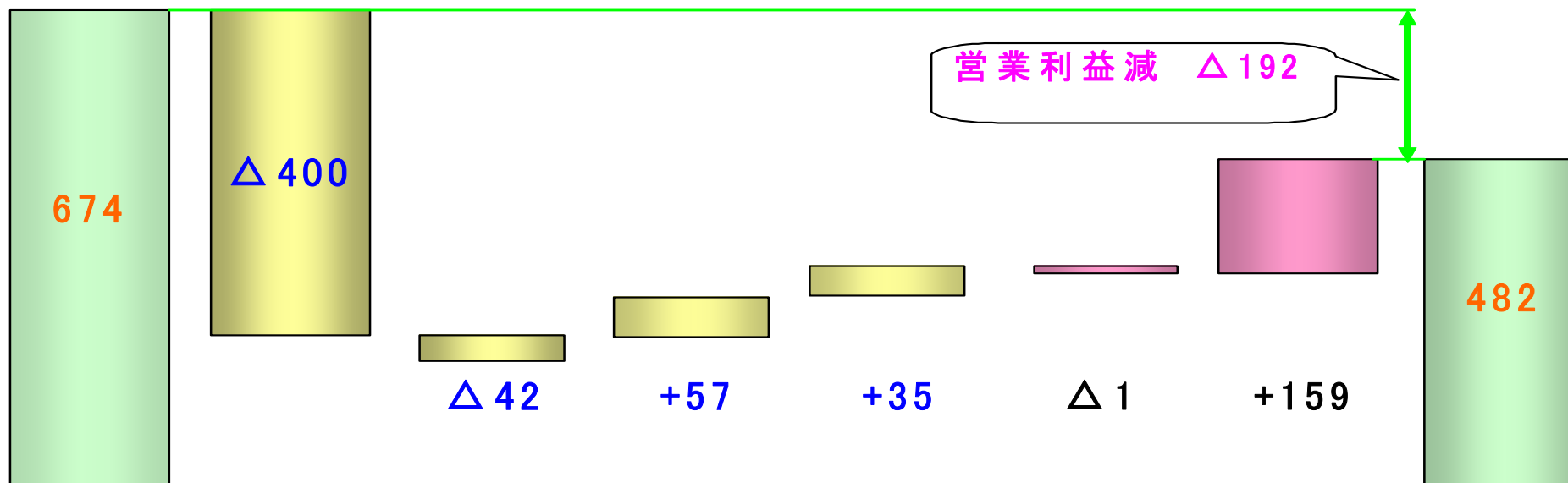
前回比△220億円
 06年度(前回)
06年度(今回)  
(1,820 → 1,600)

	営業利益		06年度経常利益(参考)
	増減	前年(7月)見通し	
I. 石油精製・販売	△192億円	(674億円 → 482億円)	644億円
(在庫影響除き)	+208億円	(234億円 → 442億円)	604億円
うち石油化学製品	+158億円	(470億円 → 628億円)	625億円
II. 石油・天然ガス開発	△33億円	(1,012億円 → 979億円)	1,057億円
III. 建設・その他	+5億円	(134億円 → 139億円)	139億円

# 石油精製・販売部門 営業利益増減分析

営業利益増減(△192億円)のポイント

- ・在庫影響のプラスが大幅に減少
- ・原油価格前提の下方修正によるタイムラグの良化、自家使用燃料代のダウンの影響等により、石油マージンが良化
- ・パラキシレン、ベンゼン等の市況好調を反映し、石化マージンが良化



石油製品  
Δ350

石油化学製品  
+158

石油マージン

06年度  
見通し  
(前回)  
営業利益

在庫影響  
増減

数量

タイムラグ

自家使用燃料  
代の良化等

数量

石化マージ  
ンほか

06年度  
見通し  
(今回)  
営業利益

## <見通しに関する注意事項>

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実でないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。